

第3圏域

【概要】

中学校区としては金剛中学校区、葛城中学校区、藤陽中学校区、明治池中学校区で構成され、小学校区としては向陽台小学校区、藤沢台小学校区、寺池台小学校区、高辺台小学校区、久野喜台小学校区、伏山台小学校区、小金台小学校区、錦郡小学校区(校区の一部は第2圏域)で構成されます。

昭和40年代から都市再生機構によって計画的に整備された金剛団地及び金剛東団地が大部分を占め、その西部から北部にかけての旧集落地を含んでいます。市ケアセンター(けあばる)を拠点に、保健センター、富田林病院などがあります。

地域包括支援センター(ほんわかセンター)は市ケアセンター(けあばる・けあばる金剛)に配置し、運営を富田林市福祉公社に委託しています。また、地域包括支援センター(ほんわかセンター)のランチ機能を持った在宅介護支援センターを3か所設置しています。

第3圏域の令和6年(2024年)3月末日の高齢化率は 30.6%と、市全体の平均を下回っています。

	人口(人)	高齢者人口(人)	高齢化率(%)		人口(人)	高齢者人口(人)	高齢化率(%)
金剛中学校区	14,748	4,458	30.2	葛城中学校区	12,205	4,042	33.1
伏山台小学校	5,290	1,775	33.6	久野喜台	7,429	2,282	30.7
須賀一丁目	1,079	336	31.1	新青葉丘町	366	131	35.8
須賀二丁目	1,004	345	34.4	五軒家一丁目	647	125	19.3
須賀三丁目	441	183	41.5	五軒家二丁目	410	150	36.6
伏山一丁目	501	119	23.8	青葉丘	751	218	29.0
伏山二丁目	9	3	33.3	久野喜台一丁目	949	264	27.8
伏山三丁目	885	249	28.1	久野喜台二丁目	2,290	947	41.4
寺池台5丁目	1,371	540	39.4	加太一丁目	590	157	26.6
寺池台小学校	9,458	2,683	28.4	加太二丁目	798	155	19.4
廿山二丁目	718	144	20.1	加太三丁目	628	135	21.5
寺池台一丁目	2,023	706	34.9	高辺台	4,776	1,760	36.9
寺池台二丁目	1,119	328	29.3	高辺台一丁目	1,159	418	36.1
寺池台三丁目	1,032	366	35.5	高辺台二丁目	1,033	324	31.4
寺池台四丁目	2,152	875	40.7	高辺台三丁目	2,584	1,018	39.4
金剛伏山台	1,206	239	19.8				
金剛錦織台	1,208	25	2.1				
藤陽中学校区	14,099	4,406	31.3	明治池中学校区	6,739	1,717	25.5
藤沢台小学校	8,657	2,924	33.8	小金台小学校	6,739	1,717	25.5
藤沢台一丁目	1,878	709	37.8	廿山一丁目	470	123	26.2
藤沢台二丁目	1,083	375	34.6	美山台	1,993	662	30.2
藤沢台三丁目	590	203	34.4	小金台一丁目	469	130	27.7
藤沢台四丁目	554	111	20.0	小金台二丁目	540	73	13.5
藤沢台五丁目	443	131	29.6	小金台三丁目	349	55	15.8
藤沢台六丁目	1,119	356	31.8	小金台四丁目	691	138	20.0
藤沢台七丁目	853	219	25.7	津々山台二丁目	628	115	18.3
津々山台一丁目	2,137	820	38.4	津々山台三丁目	682	262	38.4
向陽台小学校	5,442	1,482	27.2	津々山台四丁目	577	114	19.8
向陽台一丁目	373	169	45.3	津々山台五丁目	340	105	30.9
向陽台二丁目	918	284	30.9				
向陽台三丁目	2,001	738	36.9				
向陽台四丁目	1,917	241	12.6	第3圏域	47,791	14,623	30.6
向陽台五丁目	233	50	21.5	市全体	106,580	33,813	31.7

第3圏域 課題、よく聞く困りごと



今後できそうなことマッチングできそうな人・団体		
寺池台イベントの活動拠点ができる	無人運転バスの導入	ライドシェア(福祉有償輸送)
金剛地区マルシェの拡大(住宅兼店舗)	金剛駅周辺の課題は大阪狭山市近隣自治体との連携	小学校の開放(野菜マルシェの実施)で交流
買い物荷物を運んでくれる活動	歩いて楽しめるまちづくり(坂の上の魅力発信)	移動スーパー

魅力、良いところ



【地域の分析及び課題と考えること】

第3圏域のワークショップで出た意見は、他圏域と比較すると、住民同士の付き合いが希薄な地域が多いが、医療機関や買い物できる場所が多いなど地域の資源が豊富であるというものが多かった。特に金剛地区・金剛東地区と呼ばれるエリアでは、医療機関や買い物ができる場所が充実し、イベントや福祉委員会のサロン等も頻繁に実施されており、第3圏域は、地域資源が豊富であり、課題が少ないという意見が多く出ていた。

もっとも、買い物ができる場所はあるが、坂道が多く、高齢者にとっては徒歩での移動が不便であり、買い物ができない/しにくいエリアもある。また、202号線や南海高野線金剛駅から離れた地域では、医療機関や買い物ができる場所が少なく、さらに移動手段も乏しいことから、通院や買い物等が不便であるという意見が出ていた。

また、第3圏域は、教育機関(小中学校)が多いことで、子育て環境が良く、小学校単位でのまとまりがあるという他圏域では出ていなかった意見が出ていた。

住み慣れた地域で安心して生活していくためには、この圏域がもつ豊富な資源を効果的に活用できるように資源と課題のマッチング(そのための、情報収集と発信)を進めていく必要がある。また、既存の資源を、より高齢者が活用しやすい形に発展させていくことが必要である。

【課題に対しての提案】

課題	資源	提案
住民同士の付き合いが希薄 買い物先が限られる 坂が多い	小学校単位でのまとまり イベントが多い(金剛マルシェ) 福祉委員会が活発	各校区の小学校を活用してマルシェ等の住民同士の交流ができるイベントの実施
【分析】 住民同士の付き合いが希薄であることや買い物先が限られること、坂が多く移動が大変であるといった課題から、住民同士の交流と買い物のニーズが充足できる場を、移動距離が少ない各小学校で設置することが当該課題解消につながると考えて、「各小学校区でのマルシェの実施」を検討する。 マルシェは、既に実施されている福祉委員会のサロンなどと同様開催する、金剛マルシェでの野菜販売のノウハウを活用するなどし、魅力的で人がより集うよう取り組む。		